

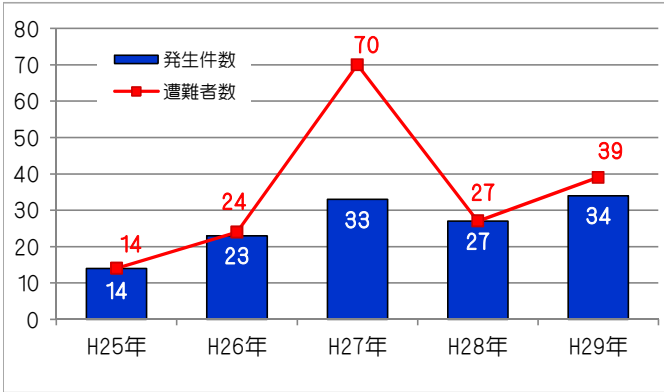
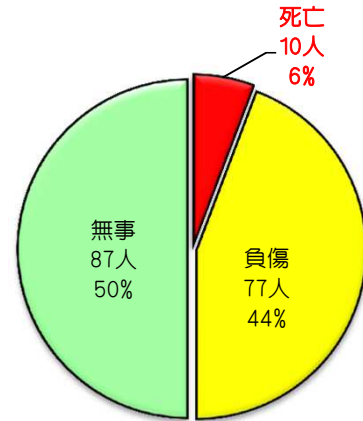
# 夏山シーズンにおける山岳遭難発生状況(北海道)

(夏山シーズンは、毎年7月から8月までの間)

## 夏山遭難発生状況(過去5年夏山シーズン)

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	計
発生件数	14	23	33	27	34	131
遭難者数	14	24	70	27	39	174
死亡	1	1	2	3	3	10
負傷	8	12	18	14	25	77
無事	5	11	50	10	11	87
行方不明	0	0	0	0	0	0

## 遭難者の態様別



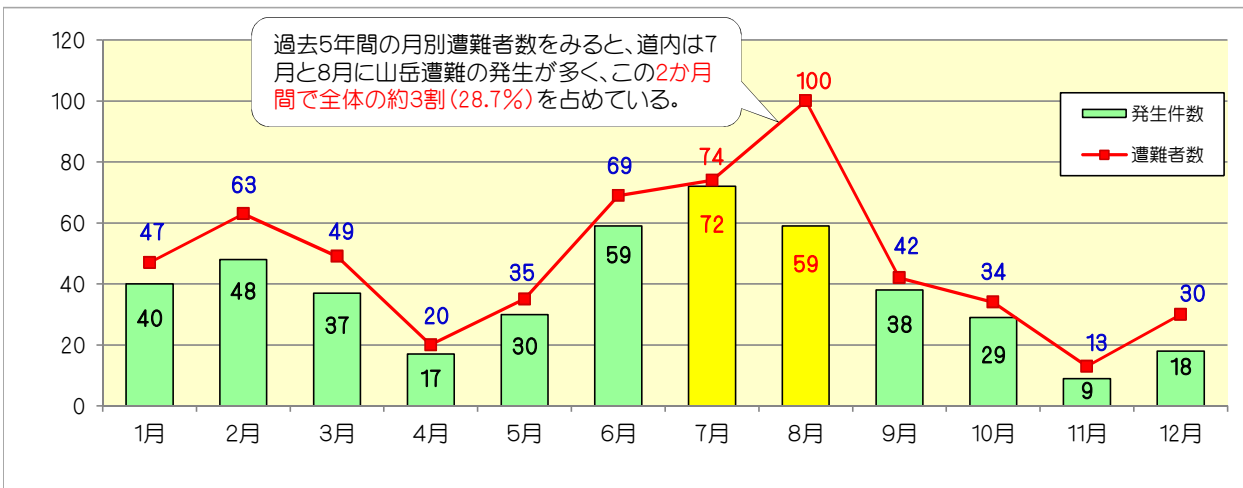
■ 過去5年の夏山シーズン中に道内で発生した山岳遭難の発生件数は131件、遭難者数は174人(平成29年の発生は、前年比+7件)  
 ■ 平成27年夏山シーズンに遭難者数が70人に急増している理由は、富良野岳で34人パーティーが豪雨による増水で遭難した事案があったため。

## 月別遭難発生件数(過去5年間)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成25年	3	5	4	2	4	16	9	5	6	4	2	0	60
平成26年	1	3	1	1	2	7	7	16	5	6	4	1	54
平成27年	5	7	6	7	5	13	16	17	9	9	0	6	100
平成28年	17	18	15	3	9	8	18	9	10	4	1	7	119
平成29年	14	15	11	4	10	15	22	12	8	6	2	4	123
計	40	48	37	17	30	59	72	59	38	29	9	18	456

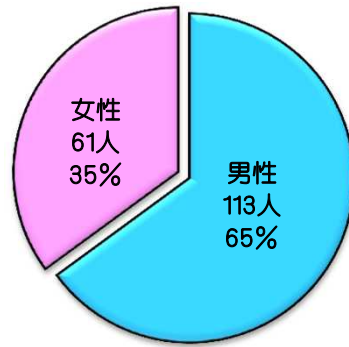
## 月別遭難者数(過去5年間)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成25年	3	8	5	2	7	18	9	5	6	4	6	0	73
平成26年	1	3	1	1	2	9	7	17	6	7	4	1	59
平成27年	5	13	8	8	6	14	16	54	10	10	0	7	151
平成28年	21	22	19	4	10	11	18	9	11	4	1	7	137
平成29年	17	17	16	5	10	17	24	15	9	9	2	15	156
計	47	63	49	20	35	69	74	100	42	34	13	30	576



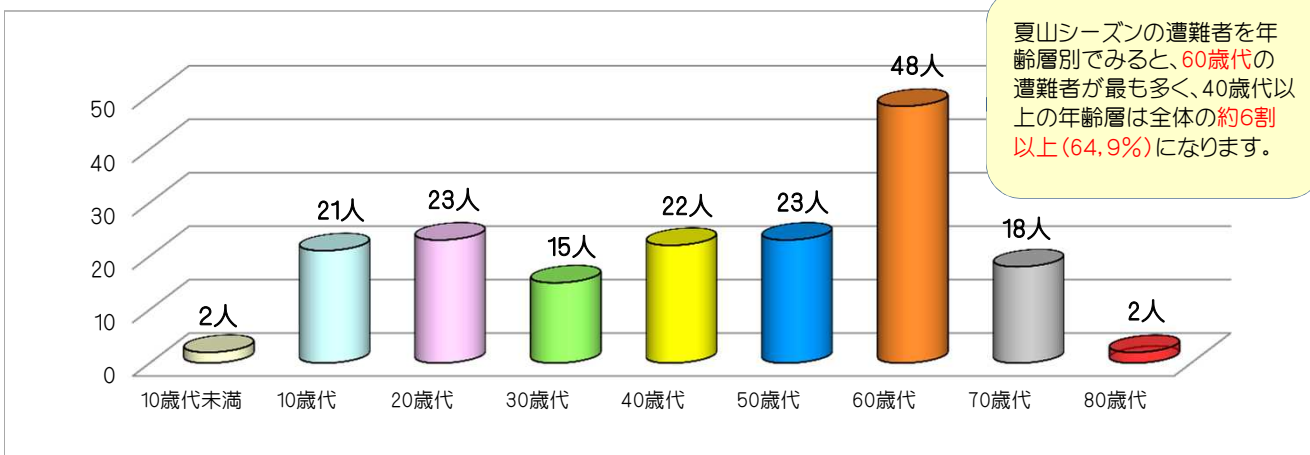
□ 遭難者の男女別(過去5年夏山シーズン)

年	男性	女性	計
平成25年	9	5	14
平成26年	16	8	24
平成27年	44	26	70
平成28年	20	7	27
平成29年	24	15	39
計	113	61	174



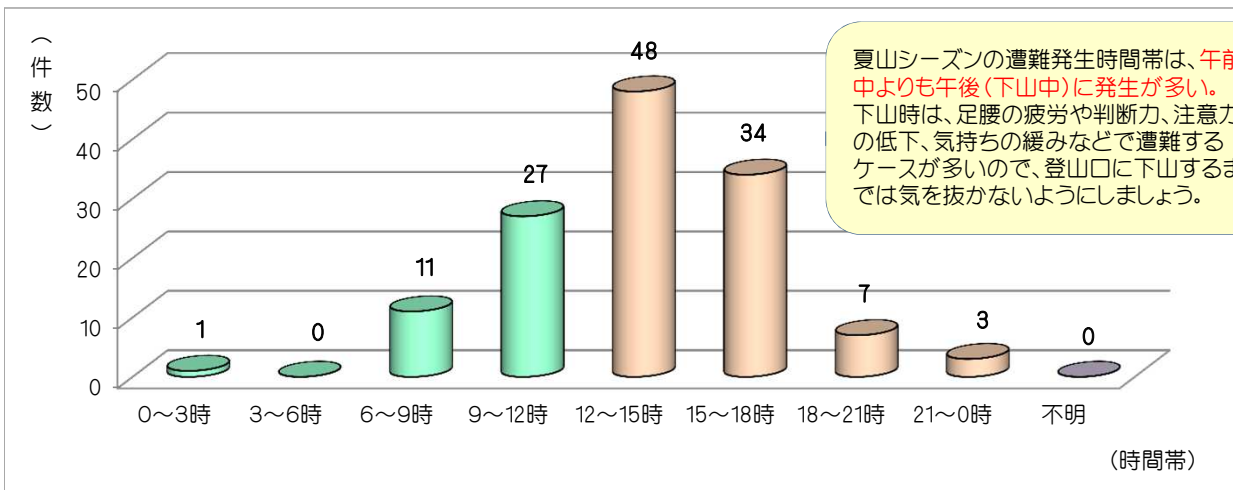
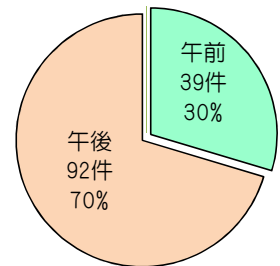
□ 遭難者の年齢層別(過去5年夏山シーズン)

年	10歳代未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	計
平成25年	1	0	2	2	2	3	1	3	0	14
平成26年	1	0	2	3	4	5	7	2	0	24
平成27年	0	20	14	6	9	6	13	2	0	70
平成28年	0	1	3	2	3	2	10	4	2	27
平成29年	0	0	2	2	4	7	17	7	0	39
計	2	21	23	15	22	23	48	18	2	174



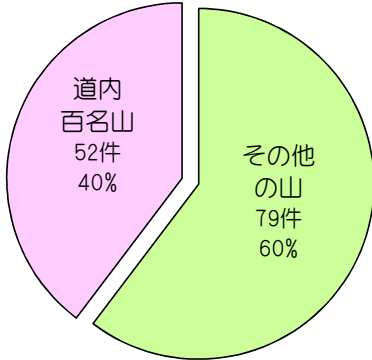
□ 遭難発生時間帯(過去5年夏山シーズン) ※件数

年	0~3時	3~6時	6~9時	9~12時	12~15時	15~18時	18~21時	21~0時	不明	計
平成25年	0	0	1	3	5	2	2	1	0	14
平成26年	0	0	4	4	9	6	0	0	0	23
平成27年	1	0	2	6	14	6	4	0	0	33
平成28年	0	0	0	8	7	9	1	2	0	27
平成29年	0	0	4	6	13	11	0	0	0	34
計	1	0	11	27	48	34	7	3	0	131



□ 北海道内の日本百名山(9山) 遭難発生件数(過去5年夏山シーズン)

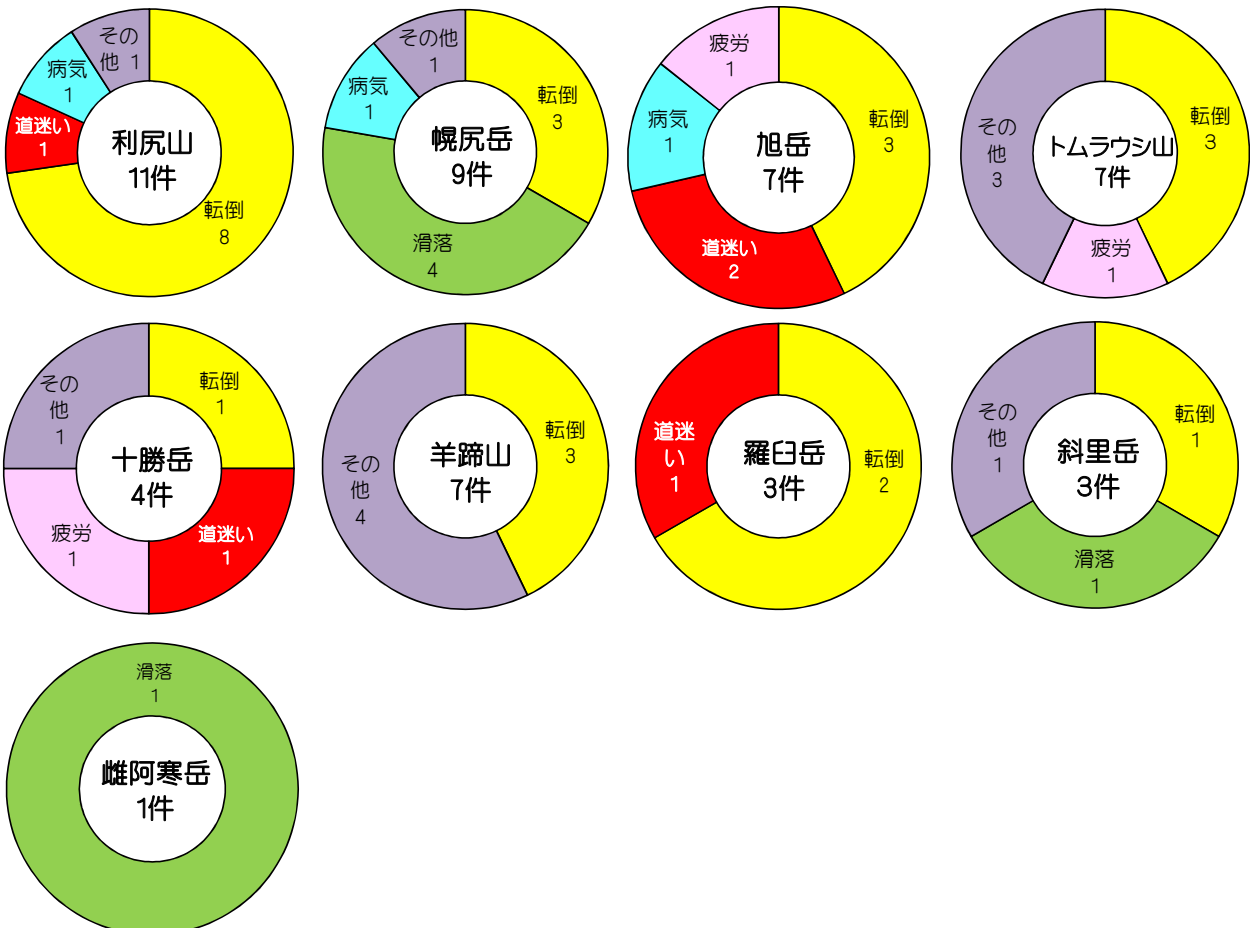
年	利尻山	幌尻岳	旭岳	トムラウシ山	十勝岳	羊蹄山	羅臼岳	斜里岳	雌阿寒岳	その他の山	合計
平成25年	1	0	0	0	1	0	0	0	0	12	14
平成26年	2	2	1	0	1	0	1	0	0	16	23
平成27年	2	4	3	1	0	3	0	0	0	20	33
平成28年	1	2	0	1	1	1	1	2	1	17	27
平成29年	5	1	3	5	1	3	1	1	0	14	34
計	11	9	7	7	4	7	3	3	1	79	131



北海道は、標高が高い山々の雪が解ける7月、8月が夏山シーズンであり、この時期に日本百名山(9山)に登る登山者が多くなります。道内にある日本百名山(9山)のうち、登山道に火山灰や岩れきが多い旭岳や利尻山では足元が滑りやすく、転倒に注意が必要です。沢登りコースのある幌尻岳では、降雨による増水のほか、急斜面における滑落、転倒に十分注意して下さい。過去5年の夏山シーズンには、利尻山と幌尻岳において10件以上の山岳遭難が発生しています。

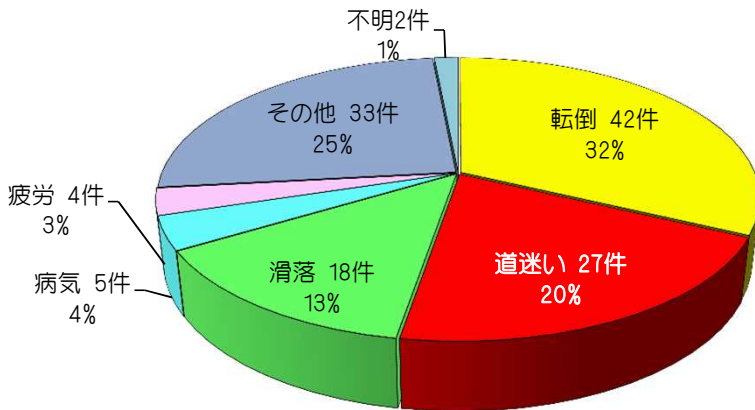
□ 北海道内の日本百名山(9山)で発生した遭難の原因(過去5年夏山シーズン) ※件数

遭難原因	利尻山	幌尻岳	旭岳	トムラウシ山	十勝岳	羊蹄山	羅臼岳	斜里岳	雌阿寒岳	合計
転倒	8	3	3	3	1	3	2	1	0	24
道迷い	1	0	2	0	1	0	1	0	0	5
滑落	0	4	0	0	0	0	0	1	1	6
病気	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
疲労	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
悪天候	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	3	1	4	0	1	0	11
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	11	9	7	7	4	7	3	3	1	52



□ 遭難原因別発生件数(過去5年夏山シーズン)

年	転倒	道迷い	滑落	病気	疲労	悪天候	その他	不明	計	その他内訳
平成25年	4	4	3	0	1	0	2	0	14	熱中症、木と木の間に足を挟める
平成26年	8	7	4	2	0	0	2	0	23	体調不良、低体温症
平成27年	8	7	4	0	2	0	12	0	33	体調不良、低体温症、脱水症、蜂刺、装備不備、増水など
平成28年	5	6	5	2	0	0	7	2	27	体調不良、脱水症、けいれんなど
平成29年	17	3	2	1	1	0	10	0	34	体調不良、脱水症、けいれんなど
計	42	27	18	5	4	0	33	2	131	



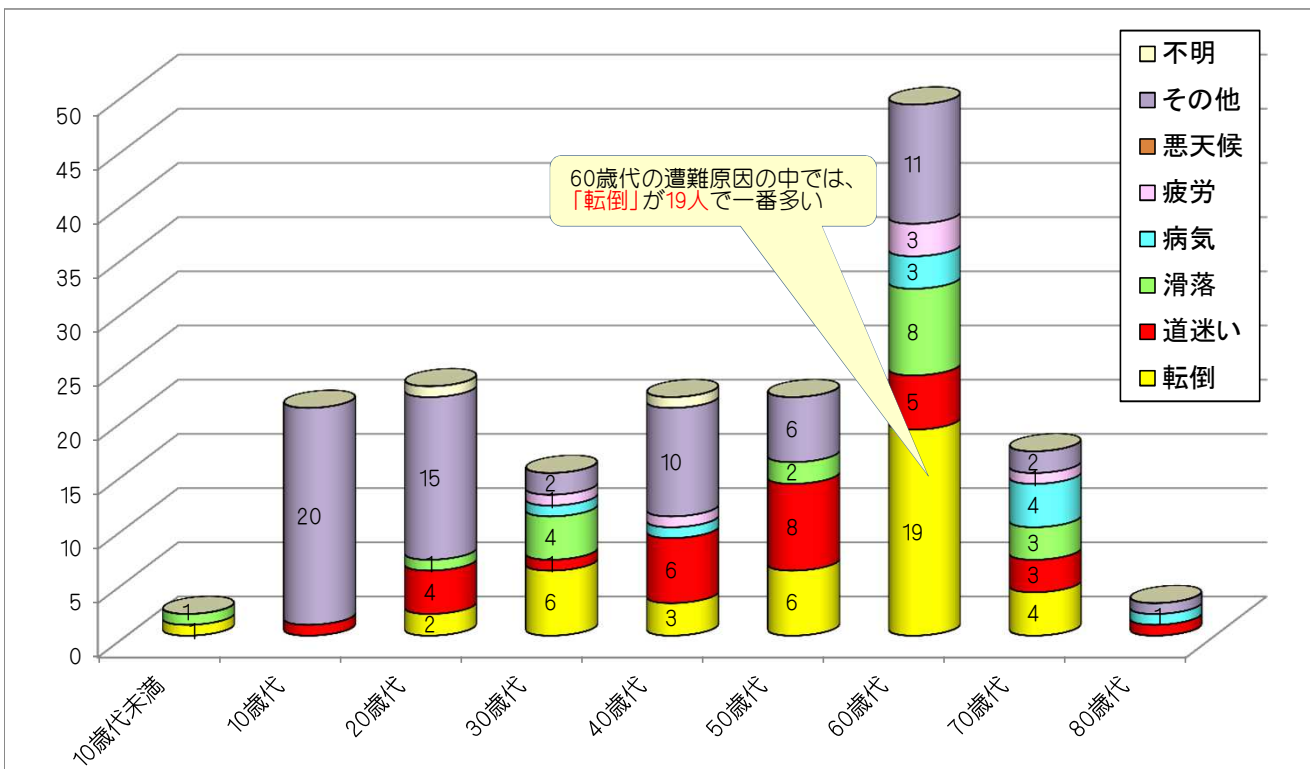
夏山シーズンにおける遭難原因上位

- 第1位 「転倒」(42件)
- 第2位 「その他」(33件)
- 第3位 「道迷い」(27件)



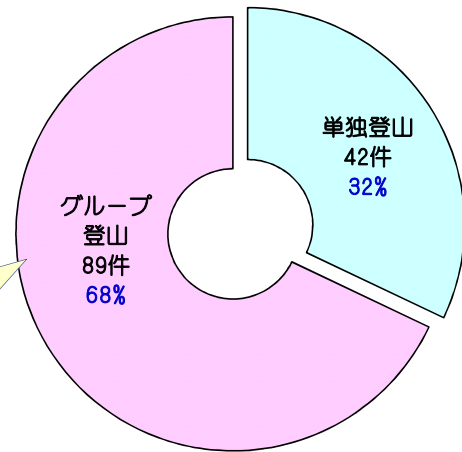
□ 年齢層別遭難原因(過去5年夏山シーズン) ※人数

年齢層	転倒	道迷い	滑落	病気	疲労	悪天候	その他	不明	計
10歳代未満	1	0	1	0	0	0	0	0	2
10歳代	0	1	0	0	0	0	20	0	21
20歳代	2	4	1	0	0	0	15	1	23
30歳代	6	1	4	1	1	0	2	0	15
40歳代	3	6	0	1	1	0	10	1	22
50歳代	6	8	2	0	0	0	6	0	22
60歳代	19	5	8	3	3	0	11	0	49
70歳代	4	3	3	4	1	0	2	0	17
80歳代	0	1	0	1	0	0	1	0	3
計	41	29	19	10	6	0	67	2	174



□ 遭難者の人数構成別(過去5年夏山シーズン) ※件数

年	単独登山	グループ登山	計
平成25年	6	8	14
平成26年	8	15	23
平成27年	11	22	33
平成28年	11	16	27
平成29年	6	28	34
計	42	89	131

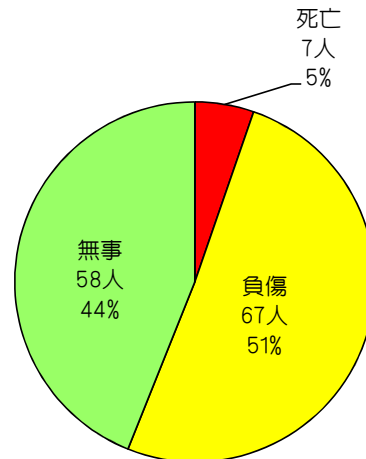
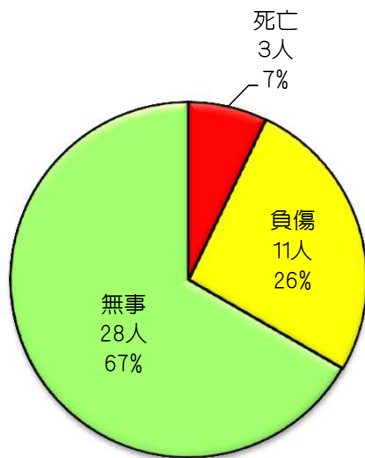


夏山シーズンにおける山岳遭難は、単独入山者よりも複数で行動するグループ登山での発生が多い状況にあります。  
グループ登山は、複数で行動するため、自分の体力や体調に応じたペースで登ることが難しく、無理をして登り、体調を崩すことがあるのでリーダーはメンバー全員の健康状態を把握して行動する必要があります。

□ 人数構成別による遭難者の死傷状況(過去5年夏山シーズン)

単独登山(人数)					
年	死亡	負傷	無事	行方不明	計
平成25年	0	2	4	0	6
平成26年	1	2	5	0	8
平成27年	1	1	9	0	11
平成28年	1	4	6	0	11
平成29年	0	2	4	0	6
計	3	11	28	0	42

グループ登山(人数)					
年	死亡	負傷	無事	行方不明	計
平成25年	1	6	1	0	8
平成26年	0	11	5	0	16
平成27年	1	17	41	0	59
平成28年	2	10	4	0	16
平成29年	3	23	7	0	33
計	7	67	58	0	132



□ 遭難者の居住地(過去5年夏山シーズン) ※人数

年	道内	道外	外国	計
平成25年	8	5	1	14
平成26年	12	12	0	24
平成27年	57	12	1	70
平成28年	15	12	0	27
平成29年	14	24	1	39
計	106	65	3	174

